

審議会等会議録

会議の名称	令和 7 年度第 2 回加須市ゼロカーボンシティ推進協議会
開催日時	令和 7 年 10 月 10 日（金） 午前 9 時 30 分から午前 11 時 00 分まで
開催場所	加須市役所 5 階 505 会議室 オンライン（Zoom）
議長氏名	浅野和生
出席委員	浅野和生（会長）、前田義克（副会長）、有賀健高 石川安則、杉沢正子、谷川拓也、伊東哲也、藤田直樹 若山敬、市川浩平、佐藤政和、大和広明、福田大悟 瀧本吉輝、内田晶子（代理）、横尾恒平（代理）
欠席委員	刑部香織、大塚利雄、坂本優太
オブザーバー	谷梨里菜（代理）【環境省関東地方環境事務所】 木原彰駿（代理）【埼玉県環境部温暖化対策課】
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 委 嘱</li> <li>3 会長あいさつ</li> <li>4 議 事             <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）加須市環境フォーラムの開催について</li> <li>（2）ゼロカーボン川柳及びグリーンカーテンコンテストの審査結果について</li> <li>（3）第 2 次加須市環境基本計画の改訂について</li> <li>（4）加須市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）の進行管理について</li> <li>（5）令和 7 年度推進共通取組項目『食品ロス削減』について</li> </ol> </li> <li>5 その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回会議について ほか</li> </ul> </li> <li>6 閉 会</li> </ol>
会議資料の名称	<p>【資料 1】 加須市環境フォーラムの開催について</p> <p>【資料 2】 ゼロカーボン川柳及びグリーンカーテンコンテストの審査結果について</p> <p>【資料 3】 第 2 次加須市環境基本計画の改訂について</p>

	<p>【資料4】加須市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）の進行管理について</p> <p>【資料5】令和7年度推進共通取組項目『食品ロス削減』について</p> <p>※当日資料「先進自治体の事例紹介」</p>
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	なし
説明者の職・氏名	環境安全部環境政策課長 前田辰男
事務局職員職・氏名	<p>環境安全部長：増田浩之、環境政策課長：前田辰男</p> <p>同課主幹：山崎幸男、同課主査：阿久津健介</p> <p>騎西総合支所地域振興課長：正能光</p> <p>北川辺総合支所地域振興長：新井弘樹</p> <p>大利根総合支所地域振興長：阿部浩明</p>
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	なし

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局 (山崎環境政策課主幹)	1 開 会
事務局 (山崎環境政策課主幹)	2 委 嘱 (新委員の紹介)
	出席委員
事務局 (山崎環境政策課主幹)	半数以上の委員が出席のため、加須市ゼロカーボンシティ推進協議会設置要綱第5条の規定による会議開催の定足数を満たしていることを報告
浅野会長	3 会長あいさつ
発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
浅野会長 (議長)	4 議事 ※都合により議事(2)は議事(5)の後に変更
事務局 (前田環境政策課長)	(1) 加須市環境フォーラムの開催について(説明) 【資料1】
	質疑応答
佐藤委員	チラシの配布を含め周知方法を教えていただきたい。 また、ターゲット層である家族やこどもにどのくらい知られている施設なのか、車で来場可能なのかについても教えていただきたい。
事務局 (前田環境政策課長)	チラシについては、大利根地域の自治会と小学校全22校の児童、各公共施設に配布を予定している。広く一般向けには、市ホームページやSNSを活用し周知する。また、関係団体等へ案内を送付する。会場は大利根地域の文化・学習センターで、地域の方に広く知られている施設である。駐車台数も100台近く停められる。
事務局 (前田環境政策課長)	(3) 第2次加須市環境基本計画の改訂について(説明) 【資料3】
	質疑応答(なし)
事務局 (前田環境政策課長)	(4) 加須市地球温暖化防止実行計画(区域施策編)の進捗管理について(説明)【資料4】

県温暖化対策課（オブザーバー）	LED化の推進について、「指標なし」となっているが、指標を設定できなかった理由と、評価を「やや遅れている」とした理由を教えてください。
事務局（阿久津環境政策課主査）	「指標なし」の理由は、市施設は大小含め200施設以上あり、LED化率を試算できていないため、現状では進捗を図れないことから指標設定ができていない。評価を「やや遅れている」とした理由は、本庁舎などLED化の取組みは徐々に進んでいるが、全体としてまだ遅れていると判断した。
県温暖化対策課（オブザーバー）	LED化率の調査をする予定はあるか。
事務局（阿久津環境政策課主査）	現在のところ調査を行う予定はない。
杉沢委員	雨水の有効利用について、「指標なし」となっているが、評価を「概ね達成」とした理由を教えてください。
事務局（前田環境政策課長）	雨水の有効利用については、市役所の取組みとして、現在公共施設3施設に雨水貯留施設を設置しており、トイレの洗浄や散水などに活用しているため、評価として「概ね達成」とした。
杉沢委員	家庭においても雨水を活用している事例は数多くあるので、そうした点にも注目していただきたい。
事務局（前田環境政策課長）	公共施設だけでなく、市内の家庭や事業所を含めた取組みとして適切な指標の設定を検討していく。
谷川委員	20ページ「7.意見照会結果」について、いずれかを指標に採用するということか。
事務局（前田環境政策課長）	今年度、環境基本計画の改訂を行うので、それに合わせて令和8年度以降に地球温暖化実行計画（区域施策編）の見直しを検討している。今回いただいた意見については、区域施策編の見直しの参考とさせていただく。
浅野会長	13ページ「自転車利用の促進」については、観光課が主で取り組んでいるのか。

事務局 (前田環境政策課長)	自転車利用の促進については、観光部局が主で取り組んでいるわけではなく、観光サイクリングであれば観光振興課、ノーマイカー通勤であれば職員課、自転車と歩行者が共有できる道路帯の整備・活用などであれば道路公園課など、全庁的に関係部局と連携しながら取り組みを進めている。
杉沢委員	16 ページの主な課題に記載されている「知る・考える・行動する」の図について、現在は横並びの配置だが、サイクルするように三角形の配置に変更していただけないか。
事務局 (前田環境政策課長)	PDCAサイクルのように、行動して終わりではなく、継続的な循環であることがわかるように変更する。
福田委員	7 ページの業種別 CO2 排出量について、教育分野において CO2 排出量が増えている。加須市の今後の取組について考えを伺いたい。
事務局 (前田環境政策課長)	市役所の CO2 排出要因の大部分は電力由来である。この教育分野については、市内全域が対象のため、排出要因の詳細は把握していないが、市で取り組む内容としては公共施設の電力を効果的に削減しなければならないため、太陽光発電をはじめ、様々な取組について検討している。
事務局 (増田環境安全部長)	教育分野では、特に学校における電力由来の CO2 排出量が大きな割合を占めている。今後の取組として照明の LED 化などもある。一方で、市内の全中学校の体育館に空調機器を設置する予定があるなど、学校の使用電力を下げることは難しい面もある。そのため、公共施設の再編も絡めながら電力削減を検討していく必要がある。市全体としていかに電力を削減していくかを総合的に検討していかなければならない。
事務局 (前田環境政策課長)	(5) 令和 7 年度推進共通取組項目『食品ロス削減』について(説明)【資料 5】
	質疑応答
石川委員	啓発チラシは 10 月に既に配布済みか。また、毎月 1 日発行の広報紙と併せて配布することの検討について伺いたい。
事務局 (前田環境政策課長)	まだ配布はしていない。配布方法については、広報紙も含め周知啓発の機会を模索しながら、効果的な周知が図れるように検討していきたい。

杉沢委員	このチラシは業者委託なのか。このデザインは見たときに心が痛むような印象を受ける。市内に広く配布・掲示されることから、見る人の気持ちに配慮したデザインにしていきたい。
事務局 (前田環境政策課長)	業者委託ではなく職員が作成したものである。インパクトを重視したものだが、ご意見のとおり、今後は見る人の心情に配慮して作成する。
谷川委員	食品ロス削減へのアプローチ方法は色々ある。インパクトを重視して、食べ残しに対するネガティブな印象を与える方法や、ポジティブな方法として、食べ物への感謝を全面に出す方法もある。PR方法については、市の広報に特集を組み、食品ロスを減らす具体的な方法と併せて掲載すれば、市民の目にとまる機会が多く、有効な手段であると考えている。
事務局 (前田環境政策課長)	今後、検討する。
事務局 (前田環境政策課長)	(2) ゼロカーボン川柳及びグリーンカーテンコンテストの審査結果について(説明)【資料2】
	質疑応答
事務局 (前田環境政策課長)	ゼロカーボン川柳の審査において、5位と6位の作品が同点であるので、佳作の枠を4点に拡大して両者を入選とするか、規定どおり佳作は3点とし、どちらか一方の作品を選出するかについて協議したい。
各委員	両者入選で決定
	5 その他
杉沢委員	他自治体の先進事例の紹介(説明)
事務局 (前田環境政策課長)	次回会議について(説明)
事務局	6 閉会
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。	
令和7年10月24日	
署名	浅野和生